

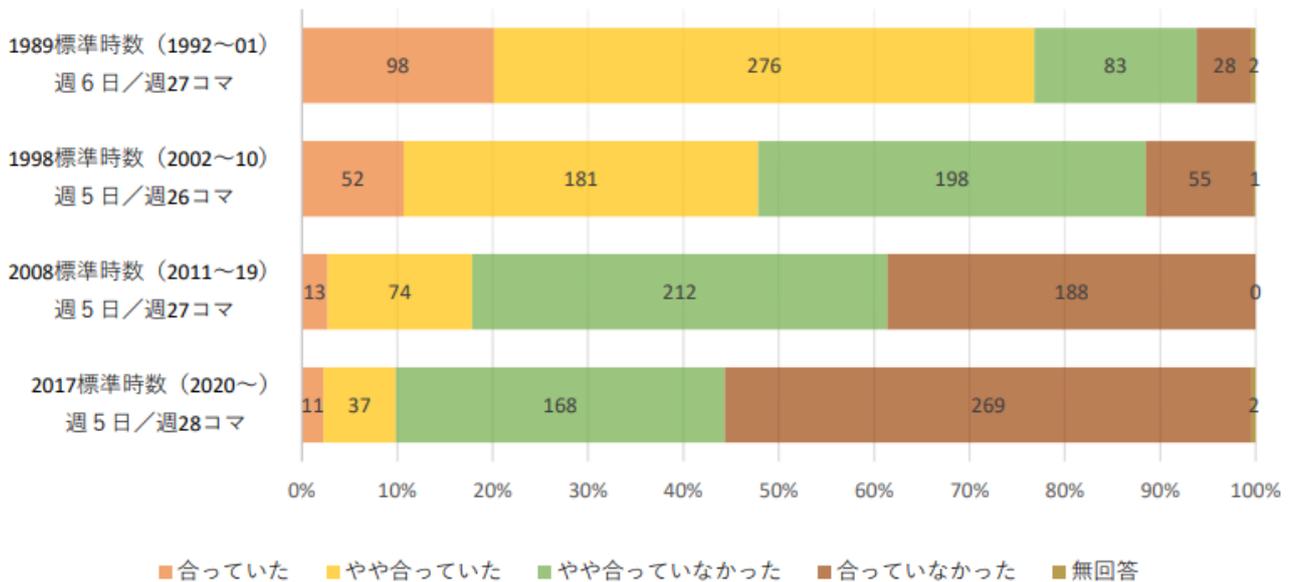
資料

表1 標準時数の変遷（小学校5年）

小学 5年	国語	社会	算数	理科	音楽	図工	家庭	体育	外語	道徳	外活	総合	特活	総時数	週
1968 標準時数	245	140	210	140	70	70	70	105		35				1085	31
1977 標準時数	210	105	175	105	70	70	70	105		35			70	1015	29
1989 標準時数	210	105	175	105	70	70	70	105		35			70	1015	29
1998 標準時数	<u>180</u>	<u>90</u>	<u>150</u>	<u>95</u>	<u>50</u>	<u>50</u>	<u>60</u>	<u>90</u>		35		<u>110</u>	35	945	27
2008 標準時数	175	<u>100</u>	175	105	<u>50</u>	<u>50</u>	<u>60</u>	<u>90</u>		35	35	70	35	980	28
2017 標準時数	175	<u>100</u>	175	105	<u>50</u>	<u>50</u>	<u>60</u>	<u>90</u>	70	35		70	35	1015	29

表2 標準時数と子どもの生活に関する調査結果

2-1 各期の標準時数は子どもの生活に合っていたか（人）



(※1989・1998・2008・2017年の標準時下で勤務した教員487人の回答)

2024年12月19日 参議院文教科学委員会 れいわ新選組：船後靖彦

出典：東京学芸大学大森直樹研究室 「標準時数の変遷に関する調査 - 結果と提言」(2024年5月7日、

[https://www2.u-gakugei.ac.jp/~omoriken/upload/hyojunjisu\\_chosa.pdf](https://www2.u-gakugei.ac.jp/~omoriken/upload/hyojunjisu_chosa.pdf))

より、船後靖彦事務所作成